

# 令和2年度山口県クラブマネジメント研修会 兼アシスタントマネジャー養成講習会



標記研修会を8月29日(土)・30日(日)の2日間に渡り、カリエンテ山口を会場に開催しました。研修会には、クラブ関係者・市町担当者・スポーツ推進委員からの参加がありました。

1日目は、広島経済大学の松本教授と渡辺准教授を講師に迎え、「地域スポーツクラブとは」「クラブのつくり方」について講義をしていただきました。

1日目の最後には、長門スポーツクラブによる事例発表が行われ、クラブの活動内容やクラブを運営するための資金の調達方法など、とても参考となる情報の提供があり、たくさんの学びがありました。

2日目は、「クラブマネジャーの役割」「クラブの運営」について、大分大学の谷口教授と至誠館大学の福田教授に講義をしていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、谷口教授にはリモートで講義をしていただくという新たな形での実施となりました。初めての試みで、不安の中スタートしたりリモート講義は、電波状況により聞きとりにくかったり、急に切断されたりすることが何度かありましたが、無事に終了することができました。

今回の研修会では、どの講義も参加者に発言をしていただく機会が多くあり、さまざまな意見や思いを聞くことができました。

参加された皆さんが、研修会を通して多くのヒントを得ることができ、これから、それぞれの立場で活かしていただけるのではないかと感じました。



リモート講義の様子

## 地域スポーツフェスタが開催されました！ 萩・長門・阿武総合型スポーツフェスタ 2020

期日：9月12日(土)  
場所：ルネッサながと

萩・長門・阿武総合型地域スポーツクラブ連絡協議会主催の『総合型スポーツフェスタ 2020』が開催されました。



開会式の様子

当初は、9月6日(日)のグラウンド・ゴルフ大会と合わせて

2週にわたり開催する予定でしたが、6日は台風接近により中止となりました。この大会に向けて、クラブと市が連携し協議や準備を進め、また、多くの参加申し込みがあったため、中止とな

ったことは大変残念でした。12日に実施されたバレーボール教室は、



講師に挑戦！(講師3人 vs 中学生6名)  
結果は・・・講師チームの勝利

全日本代表やVリーグなどで活躍された櫻井氏、佐野氏、横田氏を招聘し、楽しくかつ質の高い内容の教室が行われました。トップの選手から間近で指導を受ける機会は滅多にありません。参加した子どもたちの真剣な眼差しや楽しそうな表情がとても印象的でした。教室の最後には、サイン入りTシャツなどが用意されたじゃんけん大会が行われ、参加者が楽しめるような工夫がされていました。

わくわく(輪く和く)通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

Vol.36

2020年

10月



成人を対象にした卓球は、練習試合形式で、日頃の練習の成果を発揮する良い機会になったのではないかと感じました。ネットにひっかかった時の悔しい顔やスマッシュが決まった時の清々しい顔など、さまざまな表情が見られ、性別年齢関係なく楽しんでいました。



スマッシュ打つぞっ！



講師の桜井氏（左前）・佐野氏（右）・横田氏（左後）  
がんばれやまぐちくんのポーズで☆

全国的に多くのイベントや大会が中止となっている状況の中、“何かしないと何も動かない”という前向きな思いでこのイベントは実施されました。参加者にとって、とても貴重なイベントになったことでしょう。

## 下関スポーツカーニバル 2020



晴天の中、気持ちよく健康体操

期日：9月27日（土）

場所：セービング陸上競技場

下関市総合型スポーツクラブ連絡協議会と下関市レクリエーション協会が主催となり、『スポーツカーニバル 2020』が開催され、約 60 名が参加しました。競技場の芝生の上で、いきいき健康体操と

フォークダンスが行われました。いきいき健康体操は、背骨コンディショニングインストラクターを講師に招き、ウォーキングと柔軟や筋トレを組み合わせた運動を行いました。フォークダンスでは、リズムに合わせてステップを踏み、イスラエルの踊りやラインダンスを体験しました。参加者は、晴天の下、のびのびと身体を動かし、心地よい汗を流していました。市レクリエーション協会が担当したレク式体力チェックでは、ストローを使用した肺活量チェックや紐に吊るした2リットルのペットボトルを巻き上げる腕力チェック、椅子に座り、膝を伸ばした体勢で前屈する柔軟性チェックなどが実施されました。楽しく、簡単に自分の体力を知ることができ、とてもよい機会になっていました。



腕力チェック



リズムに合わせて♪

新型コロナウイルス感染症の影響で、身体を動かす機会が少なくなっている人も多く、このイベントで久しぶりに身体を動かしたという参加者もおられ、みなさんのとても晴れやかなスッキリとした表情が印象的でした。

このイベントのように、他団体と連携することで、新たな内容を提供することができ、参加者に満足していただけることにつながっていくでしょう。

### 令和2年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰

地域又は職場におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げたスポーツ関係者及びスポーツ団体として、文部科学大臣から表彰されました。

- ❖生涯スポーツ功労者 『NPO 法人コミュニティスポーツくすのき副会長 境憲一氏』
- ❖生涯スポーツ優良団体 『美和スポーツクラブ』

### 令和2年度山口県スポーツ功労賞

本県スポーツの振興に顕著な功績のあったスポーツ団体として、村岡知事から表彰されました。

- ❖山口県スポーツ功労賞 『今宿スポーツクラブ』 『コミスポ夢が丘』



# 総合型地域スポーツクラブ 訪問日記

クラブ名	イベント名	訪問日	訪問者
SHOKO エンジョイ倶楽部 みんなの木「ゆるスポ♪クラブ」	準備中団体の活動	令和2年9月	和田 康夫



岩国市では、準備中として活動を始めた2つの団体、「SHOKO エンジョイ倶楽部」と「みんなの木 ゆるスポクラブ」を紹介します。

## SHOKO エンジョイ倶楽部

SHOKO エンジョイ倶楽部は、平成30年12月に、「装港地区スポーツ環境を考える会」をスポーツ推進委員の本田さん（現代表）の働きかけで開催したのが始まりです。翌年には、約2000人の住民を対象にしたアンケートを実施し、約550人からの回答を基に、地域住民のニーズと施設の特性を踏まえた運動プログラムを提供していくことになりました。15人の実行委員が集まり、11回の会合を重ねた結果、「エスキーテニス」をメインスポーツとしたクラブづくりが今年度7月からスタートしました。会員は、幅広い年齢層で、約50名が集まりました。加えて、装港小学校の子どもたちや教員の参加もあり、徐々に会員が増えていきそうな生き生きとしたスタートになりました。エスキーテニスの他、卓球やACP、ポッチャなどのスポーツも体験できるプログラムを提供しています。

代表の本田さんは、このクラブを立ち上げようと思ったきっかけを次のように語ってくださいました。「スポーツ推進委員としてスポーツイベントを企画してもなかなか人が集まらずに苦勞していました。また、スポーツ少年団や子ども会がなくなったり縮小したりする様子を見ると、子どもたちのスポーツ環境をどうにかしたいとの思いが強くなってきました。賛同してくださる地域の仲間を支えていただきながら、ようやくスタートできました。」

## みんなの木 ゆるスポ♪クラブ

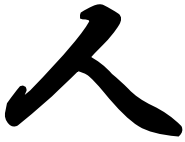
一方、「みんなの木」は、子どもたちの「学校とも家庭とも違う3つ目の居場所づくり」を目指して設立した団体です。特に低学年の子どもたちの定期的な運動の機会を提供したいとの思いから、今年度「ゆるスポ♪クラブ」部門を設け、総合型地域スポーツクラブ準備団体として名乗りを上げました。代表の桐田さんの構想では、スポーツや体育が苦手な子どもたちが、ゆるっとスポーツをする中で、楽しく体を動かすことを味わい、その結果として、「心も体も育っていく」そして、「地域の人がかかわりあう空間を創造できる」を実現したいとのこと。



9月16日（水）の15時30分、麻里布小学校の講堂では、コロナの関係で、延び延びになっていた「ゆるスポ♪クラブ」の体験会が開かれました。1・2年生を中心に、子ども25人、保護者15人の参加で、まずはACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）にチャレンジして汗を流しました。その後、ドッジビーで楽しみました。9月19日（土）には、フライングディスクの日本チャンピオンの大内勝利さんから、いろいろな投げ方や遊び方を学びました。子どもを中心としたクラブの姿が見えてきました。

この2つのクラブに対して、岩国市と山口県が経済的支援にとどまらず、準備委員会での助言などもさせていただいています。クラブに集まる人のニーズと実行委員のビジョンがうまく重なることで、より多くの人が集まってくるようにしたいと思っています。来年度4月の発足に向けて、少しずつ前進しています。

## 人がつながる 人でつながる 人がつくる



総合型地域スポーツクラブが量より質の転換を求められています。地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人… このコーナーでは、各コーディネーターがインタビューをして、人を紹介していきます。

### スポーツ NPO 法人ひかりクラブ 理事長 稲垣 克夫 氏

光市で活動している「スポーツ NPO 法人ひかりクラブ」は、平成 15 年 8 月に設立し、18 年目を迎えました。今回は、稲垣理事長にお話を伺いにクラブハウスへお邪魔しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、すべてのクラブ活動の再開には至っていないとのことでした。

#### クラブへ携わったきっかけは？

ひかりクラブは、光市にあるスポーツ交流村を拠点に活動していた卓球やソフトバレーボールなど、既存の 8 つのクラブを 1 つにまとめた総合型クラブづくりを目指しました。当時、スポーツ交流村で勤務されていた職員（元教員）が主導となり、既存クラブ関係者や行政、議員など約 20 名が準備委員会のメンバーとなり話し合いを重ね、特に問題等もなく、とてもスムーズに設立することができました。私は、既存クラブの 1 つであった卓球クラブの関係者として準備段階から関わり、それ以来ずっとクラブへ携わっています。

#### 総合型クラブを運営して感じることは？

総合型クラブは、いろいろなスポーツができること、競うことや争うこともなく、楽しくできることがとても魅力だと感じています。私自身、現在もこのクラブの卓球に参加し、楽しく体を動かし汗を流しています。子どもたちや若い世代にもたくさんスポーツをしてほしいと思っています。これからも『高齢者にスポーツで健康と生きがい、そしてこれからの子どもたちをスポーツで育て、みんなで明るい“光”のまちづくり』を目指し、会員とともにクラブを成長させていきたいと思っています。

#### クラブの課題は？

クラブの指導者が高齢化してきており、指導者を確保することが課題となっています。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年より会員が 150 名程度減少しています。一度離れてしまうと戻ってくるのが難しくなるので、今後の会員増加に不安を感じているところです。



### かみのせきンドリームズ 会長 西山 大介 氏

山口県の最南端に位置している上関町で活動している「かみのせきンドリームズ」の会長である西山会長にお話を伺いました。感染症への懸念や在宅ワークの増加などで働く場所や働き方への意識の変化なのか、上関町へ移住する I ターンが増えているそうです。

#### 会長とスポーツの出会いとは？

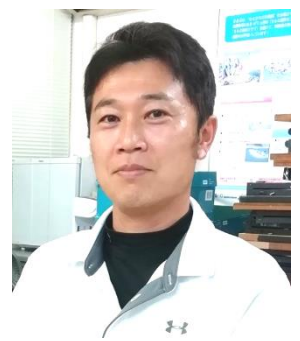
最初はソフトボール、その後、軟式野球、硬式野球へと移行し、大学までずっと野球をしていました。20 代の頃には、柳井市で活動している SA スポーツクラブで指導をした経験もあります。小さい頃からスポーツを通して、礼儀や人間関係、精神面や肉体面など本当に多くのことを学ぶことができたと感じています。現在、クラブでは子ども対象の活動が多いので、スポーツを通して、地域社会に貢献できる人材の育成をしていきたいと思っています。

#### 総合型クラブを目指したきっかけは？

最初のきっかけは、子どもの減少とともに中学校部活動の種目数も減少している中、子どもたちがいろいろなスポーツを経験できる場があったらとの思いを抱いたことです。同時期に受講したアシスタントマネージャー養成講習会の影響を強く受け、部活動のことだけではなく、クラブを通じた地域づくりを強く意識するようになり、クラブづくりへの思いがますます強くなりました。地域ではさまざまな活動をしてはいますが、本当に「つながり」をもって推進できていたのだろうかと感じることが多くありました。各種地域づくり活動を、クラブを通じて人や地域の「つながり」を深め、「地域づくり志向」に変えていくことが今後のまちづくりに必要と感じています。

#### 今後の展望は？

クラブの活動で言えば、文化的な活動として実施してきたイベント（ジャズやテノール歌手のコンサート等）が開催できていない状況で、地域の人から「イベントはせんのかね〜？」などの声が出ています。感染症の状況を見ながらではありますが、そのような地域の声にも応えていけるような活動を展開していきたいです。そして、クラブに関わる人たちは活動を楽しみ、食事をしたり、おしゃべりをしたり団らんの輪をつくることも大切にしていき、ホッとできるクラブライフが人々の生活に自然に溶け込んで地域を元気にしていけるよう、クラブを大きく育てていきたいと思っています。



【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

中央生涯スポーツ推進センター（山口県体育協会）

TEL 083-933-4697

FAX 083-933-4699